

運転士の仕事体験

JR加古川線を走る車両の運転席に座り、操作方法を学ぶ子ども。加古川市上荘町国包



加古川線厄神車両基地で見学会

鉄道の魅力を知ってもらおうと、JR加古川線厄神

た。

石 拵 墓 の 山 石

車両基地（加古川市上荘町国包）で、同基地の見学会が開かれた。抽選で当たった親子連れら約80人が参加し、加古川線の運行業務や点検業務を目的の当たりにし

「JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会」が主催。3路線の利用促進につなげようと、それぞれの路線にちなんだ見学会を計画する。今回は第1弾となる。子どもたちは、加古川線で使われている車両に乗り、車両外観が洗浄される

様子を見学。運転席に乗り込むコーナーでは、模擬運転や、車掌のアナウンス体験をした。参加者からは「運転士は、ご飯はどうするの」「SOSボタンはどんな状況で押してもいいの」などと質問が出ていた。

23日に神戸電鉄鈴蘭台車両工場、3月20日に北条鉄道北条町駅検修庫の見学が予定されている。

（児玉英友）